



PARTY LOVE 104 LIFE!
KXXHOLIC FANBOOK #02 100x004 R18 ZEROHAKU



百目鬼静は見かけによらず
以外と乙女チックメルヘンな
一面を持っていました

クリームも
ピンクにしる





上にイチゴを
たくさんのせろ



ハートのチョコを
トッピングしろ



そこにチョコで
文字を入れろ



文字はこうだ
S・H・O・V・E・
U・K・
……

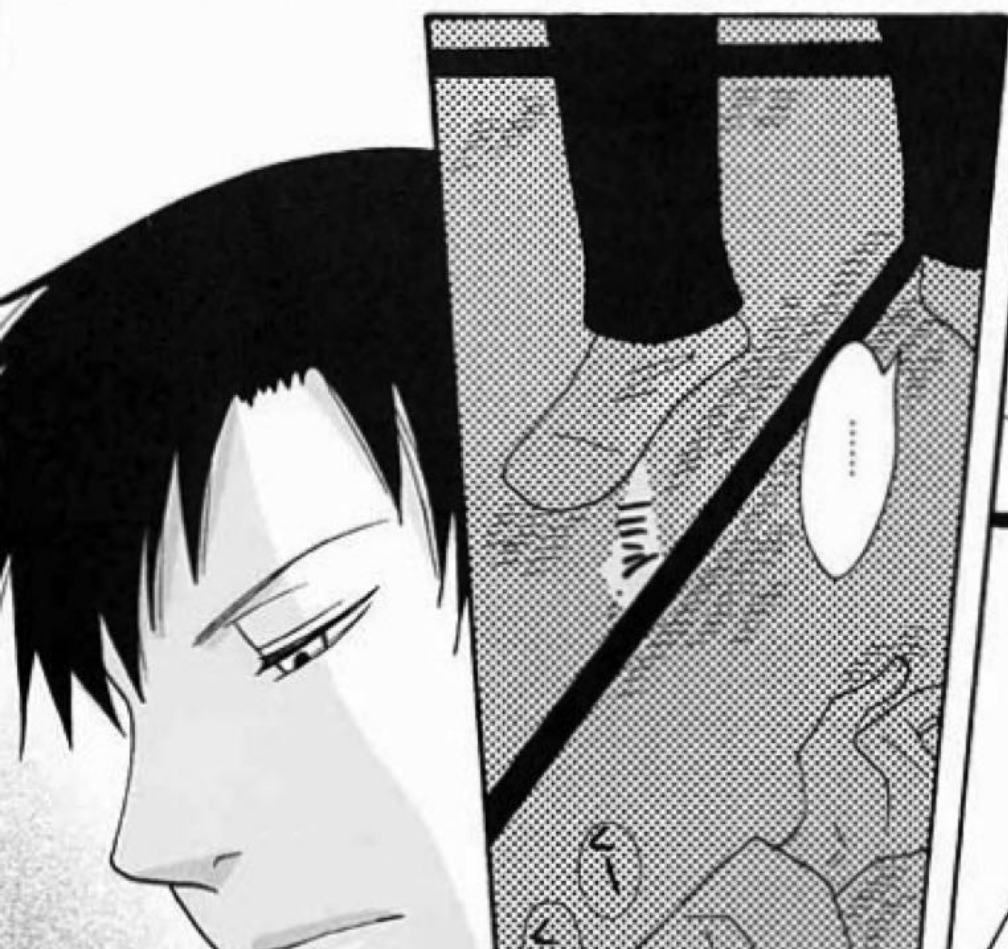
調子に
乗るなああああ！



……

















んっ…あ

ど…めき…っ…んうっ…

はあ

…っあ…

四月一日…

はあ

はあ

うん…っ?

あ…あっ

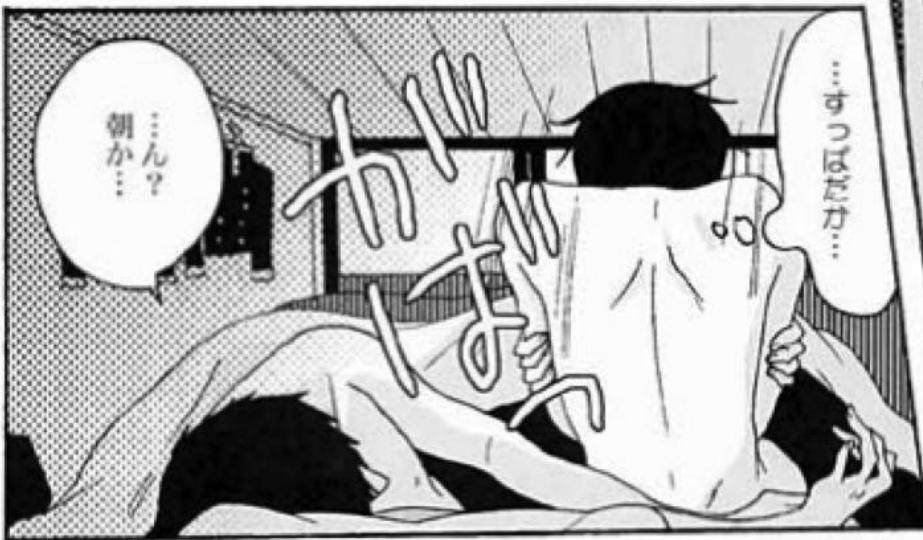
…ああっ…

…っあ…

…ん…

あ…あ…

あ…あ…



…ん

…ん？

…ん？





な…
何すんだよ…!

ただいまの
キスだ

新婚なら
当然だろうが
阿呆

たこ…
キツ…

トンチンカンな事
言うなああああ



—で

なんでこんな

こいつ
着替えまで
持ってきてやがっ…

おい



おれは
おいじゃねえ!
なんだよ!

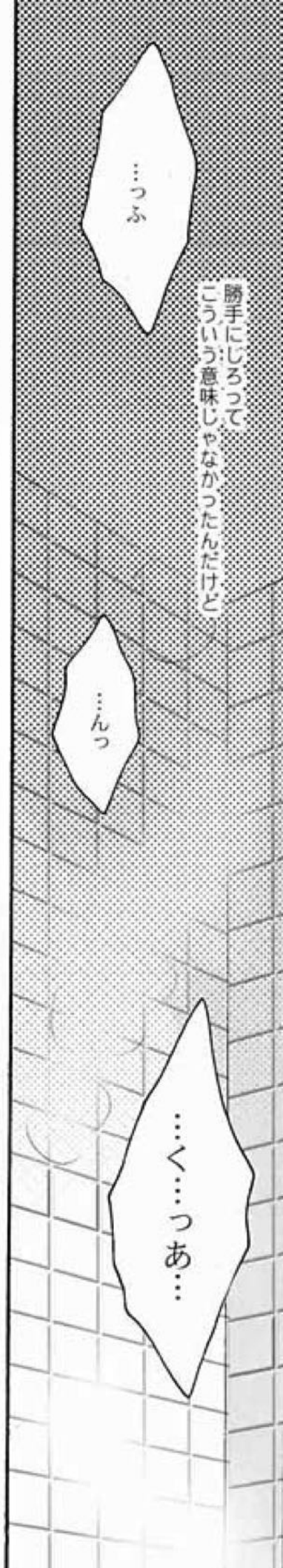
メシ食ったら
フロ入るぞ

…ああ…もう
勝手にしろよ

もう
何言っても無駄だ…

おめー!





勝手にしてさって
こういう意味じゃなかったんだけど

完全に
のぼせました

はっ！

無理させたな

ほんとにな！
あ…でも別に
ただの湯当たりだし
あんまり気にすんなよ

あっ

…ん？百目鬼？

だから
おれは大丈夫だって
こんくらい

百目鬼のくせに
気にすんなよ

ん

百目鬼
おまえ本当に家に帰れよ
親御さん心配してっぞ

す







おまえも
湯当たりしたんだろ！
もう横になれよ
：布団は一組しか
ないからな！
窮屈でも我慢しろよ！

……



ほらっ
ぼけっとしてんな
おれもおまえも
湯当たりしたから
仕方なく
なんだからなっ！

おれはもう
眠いんだよ！
それだけだぞ
わかったな！

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

……



な……んだ……
この状況……
おれは一体……なんだ……

……おやすみ

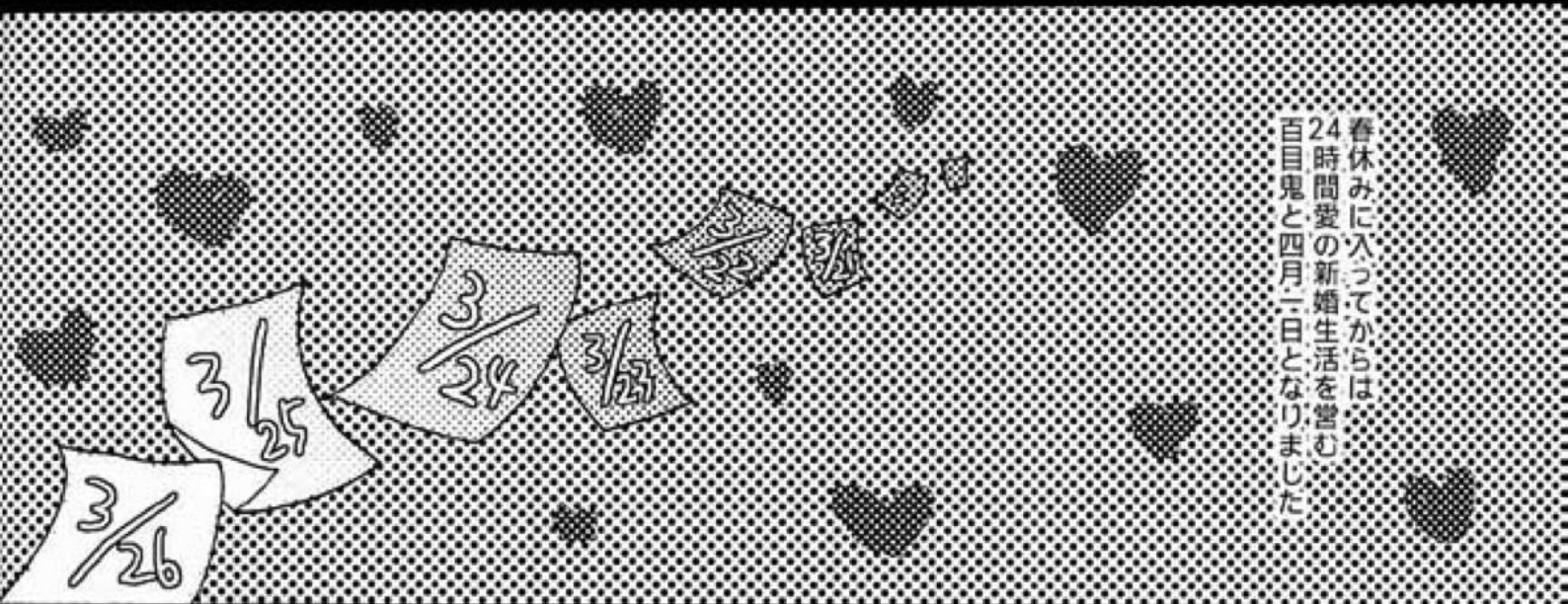
おう

熱のせいだ……
そうさ……
……そうさ……

それから二週間程は
百目鬼静は通い夫として
一日も欠かさず
四月一日家へ訪れ



春休みに入ってから
24時間愛の新婚生活を営む
百目鬼と四月三日となりました



そして三月も終わりの日

今日
実家に帰る





だっ…誰が！
んなわけあるかっ！
はっ…
やっ…と帰んのかよ
せいせいするよっ！

なんだ？
さみしいのか？

おん
おん



え？



こなもんだ



じゃあな

おん
おん

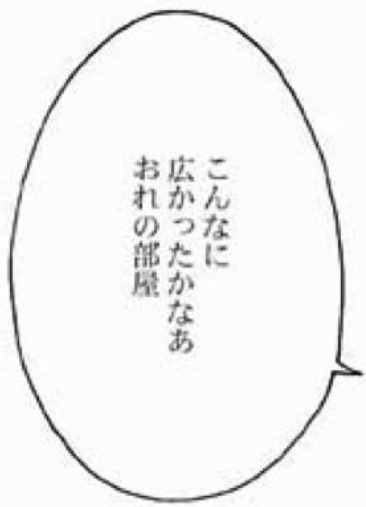


…そうか

わかった



……







自分でケーキ
作るのがよっ!
ていうか
そういう問題じゃ
ねーだろ!

…ほう



くおっああああ
めくんじゃねええ
ほう…じゃねえ!

おれがずっと
見てやるから
料理に専念しろ



その格好のまま
パースデイケーキを作れ



ぎゃっ

おれからのプレゼントだ
よく似合ってる

下着はつけるな
ケーキには生クリームを
たっぷり使うんだ

あ…あっ…
あ…阿呆っ!
もう帰れっ!
二度と来んなっ!



うるせえ
近所迷惑だ

な…な

おれの嫁は料理が上手くて
掃除洗濯裁縫が得意な働き者で
子供好きでやさしくて
すごく気が利くうえに
へんな動きで
楽しませてくれたりするんです。
しかもおれに対してだけ
ツンデシなんです。

